

Live Library 広島市
図書館
だより
平成27年(2015年)夏 No. 326

- 被爆 70 周年記念事業 広島・長崎連携事業・・・1面
- 被爆 70 周年記念事業
『子どもたちへ原爆を語りつぐ本—総集版・2015—』を
発行しました・・・2面
- 図書館コンピュータシステムが新しくなります・・・2面
- 生涯の学びに「通信教育文庫」をご利用ください!・・・3面
- 図書館員のオススメ本・・・3面
- 特ダネスナップ—まんが図書館あさ閲覧室編—・・・4面
- 休館日のお知らせ7月～9月・・・4面

被爆 70 周年記念事業 広島・長崎連携事業 (中央図書館)

企画展「つながる、つたえるヒロシマ・ナガサキ」

平成 27 (2015) 年 7 月 11 日 (土) ~ 8 月 30 日 (日)

被爆から 70 年を迎え、被爆者からその体験を直接聞くことのできる機会が少なくなりつつあります。これからの被爆体験の継承は、被爆体験のない世代がその役割を担っていかなくてはなりません。実際に経験していないことを、同じく経験していない人へ伝えていくためには、幅広い視点を持ち、より詳しく「知る」ことが必要ではないでしょうか。

この度、世界でただ二つの被爆地である広島市と長崎市の図書館が初めて連携し、両市の図書館や関係機関が所蔵する資料を展示する企画展「つながる、つたえるヒロシマ・ナガサキ」を開催します。広島と長崎の被爆の実相を所蔵資料やパネル等で紹介するほか、原爆がもたらした被害や悲惨さを伝える文学作品や手記を展示します。また、「ナガサキを知る」ための展示として、「永井隆博士」「浦上天主堂」「新興善国民学校救護所」について取り上げます。さらに、広島と長崎に住む若い世代が交流し、連携して取り組んでいる平和への願いを込めた活動等も紹介します。

ヒロシマ・ナガサキの悲劇を繰り返さないよう、これまで継承されてきた被爆体験をこれからも伝え続けていくために、この夏、あらためて図書館で「ヒロシマ・ナガサキ」について知ること、伝えていくことを考えてみませんか。



永井隆博士書「如己愛人」
所蔵：長崎市永井隆記念館

連続講座「ヒロシマ・ナガサキを知り、伝える」

広島と長崎の被爆の実相や復興の状況等についてあらためて「知る」とともに、平和について考え、より深く思いを寄せる契機とするために、次の連続講座を開催します。ぜひご参加ください。

	日時	タイトル	講師
第 1 回	7月26日(日) 14時~16時	「広島と長崎の被爆と復興」	桐谷多恵子氏 (広島市立大学広島平和研究所講師)
第 2 回	8月2日(日) 14時~16時	「永井隆博士が遺したこと」	永井徳三郎氏 (長崎市永井隆記念館館長)
第 3 回	8月7日(金) 14時~16時	「聞き、つなげるヒロシマ・ナガサキの思い」	証言：永野悦子氏 (長崎平和推進協会継承部会員) 朗読：ひろしま音読の会

会場：広島市立中央図書館3階セミナー室(中区基町3番1号)

定員：各60名(要申込・先着順)*1回のみ参加可

対象：どなたでも

申込：来館、電話、FAX、図書館HP専用フォーム(7月1日(水)午前9時より受付開始)

市立図書館全館で、原爆・平和に関する図書(ヒロシマ・ナガサキ関連)の展示・貸出を行います。展示期間等は各施設にお問い合わせください。

広島市立図書館